

造血器腫瘍遺伝子パネル検査(ヘムサイト[®])をご依頼いただく先生へ
 平素より大阪国際がんセンターの診療にご協力いただきありがとうございます。
 造血器腫瘍遺伝子パネル検査を希望される患者さまがおられる場合、以下のチェックリストにて
 適応をご確認の上で、「造血器腫瘍遺伝子パネル検査の申込手順」に沿ってご依頼ください。

1. 当センターで現在行っている造血器腫瘍遺伝子パネル検査

実施可能な造血器腫瘍遺伝子パネル検査は「ヘムサイト[®]」のみです。

検査時に当センターに入院されていない患者さんの場合、他院で作成された FFPE 検体による検査のみ受け付けています。

保険診療下にて実施しており、自費診療による造血器腫瘍遺伝子パネル検査は行っていません。

2. ヘムサイト[®]適応疾患(下記いずれかの造血器腫瘍又は類縁疾患)

ア	初発時に算定できるもの	①急性骨髄性白血病 ②急性リンパ性白血病 ③骨髄異形成症候群 ④骨髄増殖性腫瘍及びその類縁腫瘍 ⑤組織球及び樹状細胞腫瘍
イ	従来の方法による検索が行えない 又は他の造血器腫瘍又は類縁疾患 と鑑別が困難な場合において、初発 時に算定できるもの	①アグレッシブ B 細胞非ホジキンリンパ腫 ②インドレント B 細胞非ホジキンリンパ腫 ③T 細胞非ホジキンリンパ腫 ④NK 細胞非ホジキンリンパ腫 ⑤多発性骨髄腫
ウ	再発又は難治時に算定できるもの	①急性骨髄性白血病
エ	従来の方法による検索が行えない 又は他の造血器腫瘍又は類縁疾患 と鑑別が困難な場合において、再発 又は難治時に算定できるもの	①フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 ②インドレント B 細胞非ホジキンリンパ腫 ③T 細胞非ホジキンリンパ腫 ④NK 細胞非ホジキンリンパ腫 ⑤慢性リンパ性白血病
オ	病期を問わず算定できるもの(既存 の検査及び病理診断等で確定診断 に至らず、治療方針の決定が困難 な場合に限る。)	① 原因不明の著しい血球減少

3. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査を受けられる場合の注意点

外来受診時には、下記の費用が必要となります。

- ・初診時: 初診料+がんゲノムプロファイリング検査(44,000点)
- ・再診時(中間報告説明): 再診料+情報提供料(250点)
- ・再診時(最終報告説明): 再診料+情報提供料(250点)+がんゲノムプロファイリング評価提供料(12,000点)

上記費用【3割負担の場合 検査費用自己負担額: 初診時132,000円、再診時(最終報告説明)36,000円】に検査後の治療費は含まれていません。

検査後の治療に関しては紹介元医療機関でお願いいたします。

外来初診後、中間検査結果(Fast-track)報告書が整うまで約3週間かかります。

また、エキスパートパネル後の最終検査結果報告書が整うまで約1ヶ月半かかります。

検査結果が得られるまでに急激な病勢進行を認めるケース等もあるため、十分にご留意ください。

中間検査結果(Fast-track)及び最終検査結果の返却には当センターの外来受診が必要です。

結果返却時に入院されている場合は、再診時の費用を入院中の医療機関において保険請求いただくこととなりますので、入院中の医療機関がご了承されたうえで、患者さんまたはご家族がご来院ください。

4. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査 保険適用チェックリスト

- 「2. ヘムサイト[®]適応疾患」のいずれかに該当する
- 提出できる FFPE 検体がある
- 腫瘍割合が20%以上である
(当センターで FFPE の腫瘍割合の判定は行いません。主治医の責任による判定をお願いします)
- 検査提出時点で入院していない

5. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査の申込手順

(1) 大阪国際がんセンター予約センターへお申し込みください。

- ① 診療予約申込書(紹介目的で「造血器腫瘍遺伝子パネル検査」にチェックしてください)
- ② 診療情報提供書
- ③ 造血器腫瘍遺伝子パネル検査情報提供シート

※C-CAT 登録に必要な情報です

上記①～③をご準備の上、大阪国際がんセンター 予約センター(FAX:06-6945-1885)へお申し込みください。

血液内科でカンファレンスの上でご連絡しますので、予約日時のご連絡までに1週間前後かかる場合がありますのでご了承ください。また、検査が困難と判断した場合はお断りすることがあります。

(2) ご準備いただくもの

以下のものをご準備いただき、予約当日患者さんが持参してください。

- ① ホルモン固定パラフィン包埋 (FFPE) 標本ブロック 1個 (紹介元施設が選定)
- ② 同部位のHE標本 1枚 (返却しません)
- ③ 診断に使用した免疫染色標本 (存在する場合、すべて)
- ④ 提出検体症例の病理診断書 (コピー)

※ 提出された FFPE 組織はパネル検査用に薄切で、使い切る可能性があります。

(FFPE 検体準備についてのお願い)

切り出しは腫瘍細胞がなるべく多く含まれている部位を選択してください。(腫瘍細胞含有率 20%以上、可能なら50%以上が望ましい) 中性緩衝ホルモン以外のホルモン(緩衝作用のないホルモン、酸性ホルモン)で固定されたものやホルモン固定時間が長いもの(48時間を超えるもの)や、古い検体(3年以上経過したもの)は核酸の状態が悪く、検査ができない可能性が高くなります。

当院にて必要量のスライド作製後、残りは返却しますが、使い切る可能性がございます。

未染ガラスでの検体提供となる場合には、標本作成にマイクロームやウォーターバスを専用のものを使用し、検査に必要な枚数の未染ガラススライド(紹介元で必要枚数を判断)と、返却不要の HE 標本をを1枚添付ください。

ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<ご依頼窓口>

大阪国際がんセンター予約センター

〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話 06-6945-1880

FAX 06-6945-1885